

交通死亡事故発生状況

(令和6年5月末確定数)

1 令和6年5月末の交通事故

区分	5月中			5月末		
	発生数	増減数	増減率	発生数	増減数	増減率
人身事故件数	1,850	-69	-3.6	9,603	-79	-0.8
死者数	8	-7	-46.7	56	-7	-11.1
負傷者数	2,186	-88	-3.9	11,386	-10	-0.1

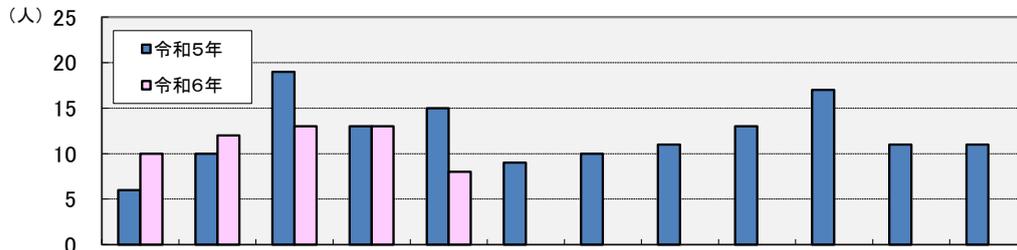
・死亡事故は、55件 56人で
前年同期と比べ -7件 -7人

・人身事故件数は、0.8%の減少

・負傷者数は、0.1%の減少

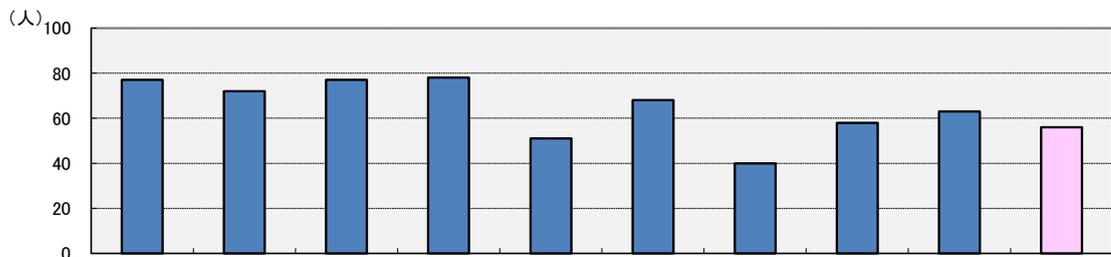
2 月別死者数

～ 5月中の死者は8人で、7人の減少 ～



年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	6	10	19	13	15	9	10	11	13	17	11	11	145
令和6年	10	12	13	13	8								56
増減数	+4	+2	-6	0	-7								-7
増減率	+66.7	+20.0	-31.6	0.0	-46.7								-11.1

3 死者数の年別推移

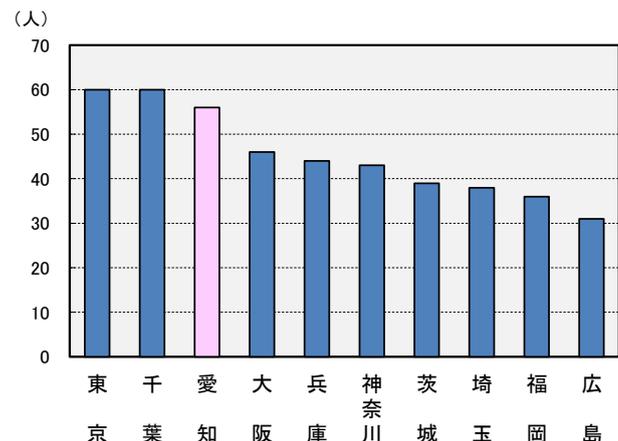


死者数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		77	72	77	78	51	68	40	58	63

【注】令和元年の数値は、平成31年のものを含む。

4 都道府県別死者数

順位	都道府県	死者数	増減数	増減率
1	東京	60	+16	+36.4
1	千葉	60	+12	+25.0
3	愛知	56	-7	-11.1
4	大阪	46	-25	-35.2
5	兵庫	44	+5	+12.8
6	神奈川	43	-1	-2.3
7	茨城	39	+1	+2.6
8	埼玉	38	-1	-2.6
9	福岡	36	-4	-10.0
10	広島	31	+1	+3.3
	全国	984	-21	-2.1

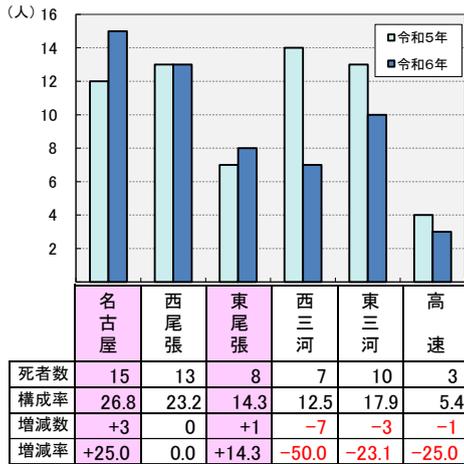


【注】都道府県別死者数は、令和6年5月31日現在の暫定値である。

5 交通死亡事故の特徴

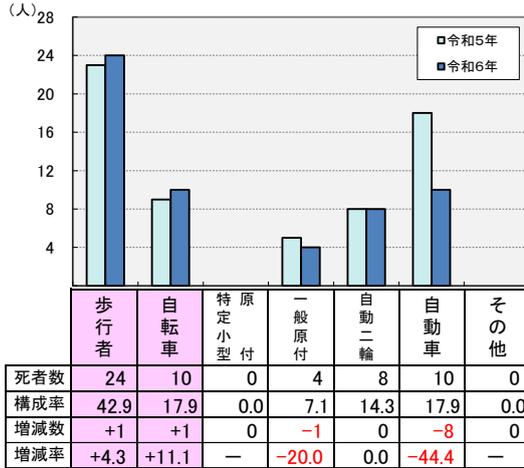
(1) 地域別

～名古屋が多発増加～



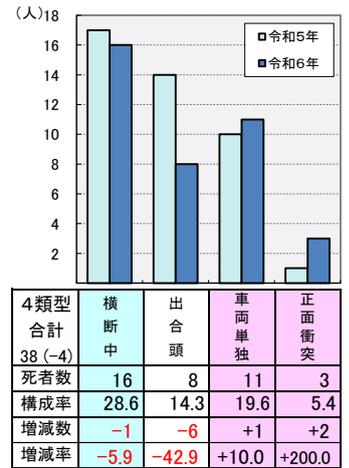
(2) 当事者別

～歩行者が多発増加～



(3) 主な事故類型別

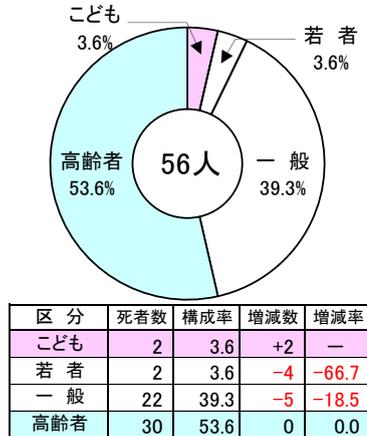
～横断中が多発～



【注】自転車死者のうち、ヘルメット非着用10人(100.0%)
うち、負傷主部位：頭部8人(80.0%)

(4) 年齢層別

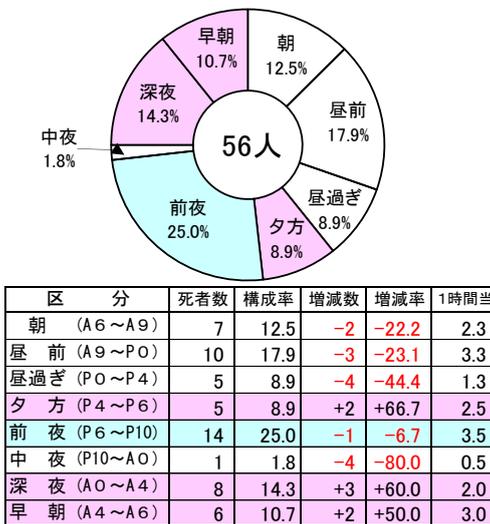
～高齢者が多発～



【注】子ども15歳以下、若者16歳～24歳
一般25歳～64歳、高齢者65歳以上

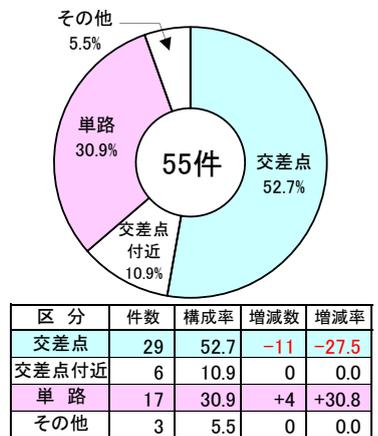
(5) 時間帯別

～前夜が多発～



(6) 道路形状別

～交差点が多発～



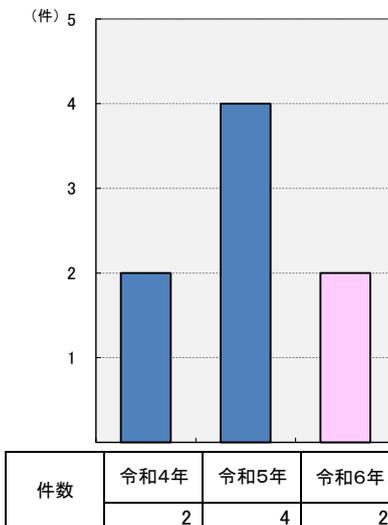
(7) 法令違反別(第1原因)

～一般原付以上の歩行者妨害等が多発増加～

区分	件数	構成率	増減数	増減率
総数	55	100.0	-7	-11.3
一般原付以上	45	81.8	-5	-10.0
小計	16	29.1	-1	-5.9
重点5態様				
信号無視	4	7.3	+3	+300.0
最高速度	3	5.5	+1	+50.0
歩行者妨害等	9	16.4	+2	+28.6
一時不停止	0	0.0	-7	-100.0
酒酔い	0	0.0	0	—
安全運転義務	17	30.9	-1	-5.6
その他	12	21.8	-3	-20.0
特定小型付	0	0.0	0	—
小計	0	0.0	0	—
信号無視	0	0.0	0	—
一時不停止	0	0.0	0	—
その他	0	0.0	0	—
自転車	5	9.1	+1	+25.0
小計	5	9.1	+1	+25.0
信号無視	1	1.8	0	0.0
一時不停止	1	1.8	0	0.0
その他	3	5.5	+1	+50.0
歩行者等	5	9.1	-3	-37.5
小計	5	9.1	-3	-37.5
信号無視	4	7.3	-3	-42.9
横断等	0	0.0	-1	-100.0
その他	1	1.8	+1	—
その他・不明	0	0.0	0	—

(8) 飲酒運転事故発生状況

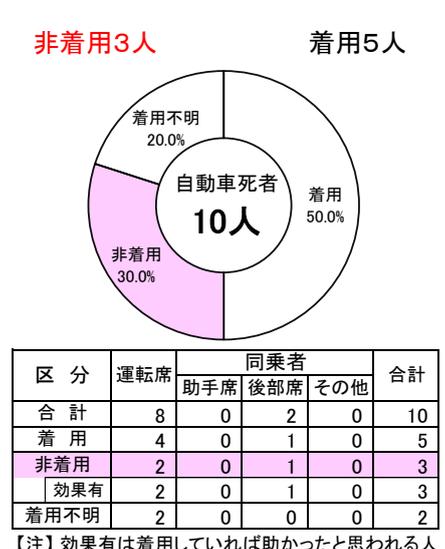
～飲酒運転死亡事故は2件～



【注】対象：一般原付以上の第1当事者

(9) シートベルト着用状況

～非着用が3人～



【注】効果有は着用していれば助かったと思われる人